



市立図書館ホームページ 
 携帯アドレス <http://www.tosho.otake.hiroshima.jp/mobile>
 問い合わせ ☎52-5338 ☎52-8005

9月 (SEP)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

■白字は図書館の休館日です。○はおはなし会の日です。

イベント紹介

国立国会図書館歴史の音源を聴く
 ～麗しのシャンソン ラ・ボエーム～
 とき9月28日(水)11時～▼ところ図書館2
 階ギャラリー1-3 ▼対象成人▼定員10人程
 度

おひざにだっこのおはなし会
 とき9月9日(金)10時30分～▼ところ図書
 館2階ギャラリー1-3 ▼対象赤ちゃん向き
 ▼定員5組程度

親子で楽しむおはなし会
 とき9月9日(金)11時～▼ところ図書館2
 階ギャラリー1-1 ▼対象1歳から▼定員5
 組程度

おはなし会
 とき9月17日(日)11時～▼ところ図書館1
 階おはなしのへや▼対象幼児・小学生
 保護者▼定員5組程度

※各イベントは事前申し込みが必要で
 す。イベントは中止・延期になる場合
 があります。

展示コーナー
 一般向き 数学の時間で
 児童向き 宇宙ってすごい
 時事コーナー 認知症を知ろう



「土曜日のおはなし会」の様子



「ぬいぐるみおとまりかい」のアルバムもらったよ!



YouTube野外ロケのひとコマ
実写マロン登場!



YouTube大竹市
図書館チャンネル



大竹中、40年ぶりの快挙!
 中国中学校バスケットボール選手権大会出場

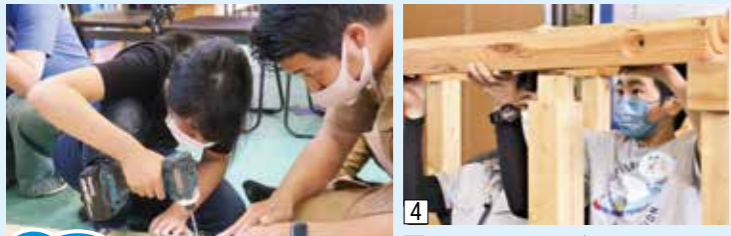
大竹中学校
 7月25日・26日に広島グリーンアリーナで開催された県大会で、大竹中バスケットボール部が準優勝に輝き、中国大会へ進出しました。

「チームに選ばれた選手はいない。総合力で勝った」と顧問の井手正典先生は勝因を分析。生徒たちへの信頼が伝わります。準決勝戦では、延長からの残り1秒で決勝点を決め、勝利に導いたキャプテンの堤徹平くん(3年)は「仲間と一緒にプレーできるのが楽しい。粘り強く戦い、負けたチームの分も悪い結果を残したい」と中国大会への意気込みを語ってくれました。

8月5日に鳥取市で開催された中国大会。ベスト8に進出し、相手チームを1ゴール差まで追い詰めたが、惜敗。成長著しい大竹中バスケットボール部から目が離せません。



8/1 MON
 レギュラー15人が総力を挙げて勝ち抜いた県大会。部員全員でガッツポーズ。



7/24 SUN
 ①1億円の札束にビックリ! 実はおもちゃのお金。②ソーラートレインを見せてくれる小林さん。③ドリルで穴開け。「竹あかり」の模様になります。④柱に軒桁を組み合わせ、棟上げ体験。



8/11 THU
 地引き網にかかった生き物を探します。

生き物いっぱい。小瀬川干潟観察会
 小瀬川河口・リサイクルセンター

51人の親子が参加した「小瀬川干潟観察会」。岩の間隙を見たり、砂を掘ったり、思い思いに生き物を探します。大きな網を引いて生き物を捕まえる「地引き網」。網を引いた後は、のぞき込んで「これはデカイよ!」などと大はしゃぎ。

採集後は、生き物を分類し、じっくり観察。県環境保健協会の講師が名前や生態を教えます。「これは何?」と子どもたちは名前や習性を質問して興味津々。

4月に大竹市に引っ越してきた佐伯耀土くん(大竹小5年)は、約4種類7匹のカニを捕まえたカニハンター。中には、マメコブシガニという前向きに歩く珍しいカニも。最初は触るのも恐る恐るだった耀土くん。夢中で採集するうち、平気につかめるようになっていました。



楽しく体験。「子ども天国イン玖波」

玖波公民館

会場は、受け付け前から長蛇の列ができるほどの盛況ぶり。10以上ものブースでさまざまな体験ができる機会に、子どもたちは暑さも忘れて真剣に取り組みました。

ソーラートレイン作りでは、6人の子どもたちが、家族と協力して太陽光で動く電車を組み立てます。参加した小林雪華さん(大竹小6年)は、「作るのが難しかった」と言いながらも楽しそうな表情。

そのほかにも、交通安全体験車や、オークション体験、KUBAフェスの舞台を飾る「竹あかり」の作製、1坪の建物の棟上げ体験などでにぎわいました。

ボランティアをしていた井上友里さん(玖波中2年)は、こういったボランティアへの参加は初めて。「楽しく小さい子と触れ合えるいい機会」とほほ笑みます。

新刊案内

こどもの本 おとなの本

「パンに書かれた言葉」 朽木 祥/作 (小学館)
 2011年の震災後、母の生まれ育ったイタリアへ旅だった少女、光。そこで、今まで考えたこともなかった真実を知ることになり…。戦争を乗り越えて生きてきた人々の“希望”を描く、ヒロシマとイタリアをつなぐ物語。

「おばけのかわをむいたらふしぎ体験シリーズ」 たなか ひかる/著 (文響社)
 「おばけのかわをむいたらふしぎ体験シリーズ」 たなか ひかる/著 (文響社)

「#真相をお話します」 結城 真一郎/著 (新潮社)
 「地球、この複雑なる惑星に暮らすこと」 ヤマザキ マリ/著 養老 孟司/著 (文藝春秋)
 地球温暖化、生態系の変化、パンデミックの襲来。虫たちは地球の変化をとっくに知っていた。人間はどこへ行くのか。コロナ禍をまたぐ4年間、虫を愛するふたりが、縦横無尽に語り合った足もとからの文明論。

「江戸で部屋さがし」 菊地 ひと美/著・絵 (講談社)

●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、掲載している催しなどは中止、または延期になる場合があります。